

# もがみ大豆だより

第2号<中耕・培土編>  
令和4年6月21日  
最上総合支庁 農業技術普及課  
TEL：29-1333（作物担当）

## 大豆の生育量確保には雑草対策の徹底！

### ①中耕・培土 ②排水対策 ③除草剤

本年は、6月上旬の降雨で播種が遅れ、その分生育も遅れています。気温の上昇に伴い雑草の生育も早くなるので、大豆が雑草に負けないよう、雑草対策を徹底しましょう！

#### 1 中耕・培土

大豆の中耕・培土は…

##### ①大豆の根量増加

（不定根の発生、新しい根粒菌の着生）

##### ②雑草の抑制

##### ③土壌の通気性、排水性の向上

##### ④倒伏の防止

など様々な効果

●雨の多い年は雑草の発生が多い。

⇒②の効果が特に重要！

雑草が見られる圃場では本葉3葉期になったら  
すみやかに中耕・培土に入る！

※この際、大豆の株元までしっかりと土寄せする（図1）。寄せた土が『凹状』になると株本に水が溜まるなど、湿害の原因になる場合もあるので注意。

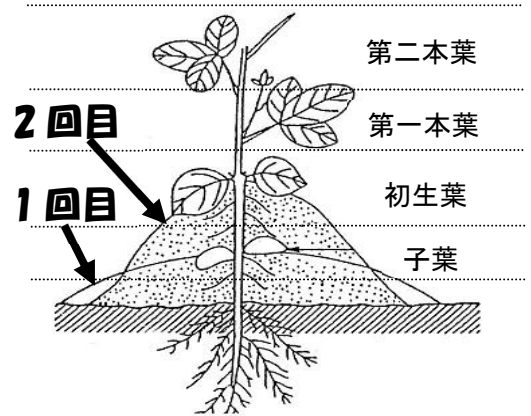


図1 培土のイメージ

中耕・培土は… 1回目：本葉3葉期に子葉節が隠れるように  
2回目：本葉6～7葉期に初生葉節が隠れるように

#### 2 排水対策

・大豆は出芽～生育初期の湿害の影響が大きい。

⇒生育初期の湿害は根と主茎長の伸長が妨げられる（図2）。

・主茎長の伸長悪化は莢付きの不良や、雑草の繁茂に繋がり、低収量の引き金になりやすい。

◎大豆栽培と圃場の排水対策は切っても切れない関係！

・明渠を施工している圃場も、きちんと排水されているか定期的に点検、整備を行う。

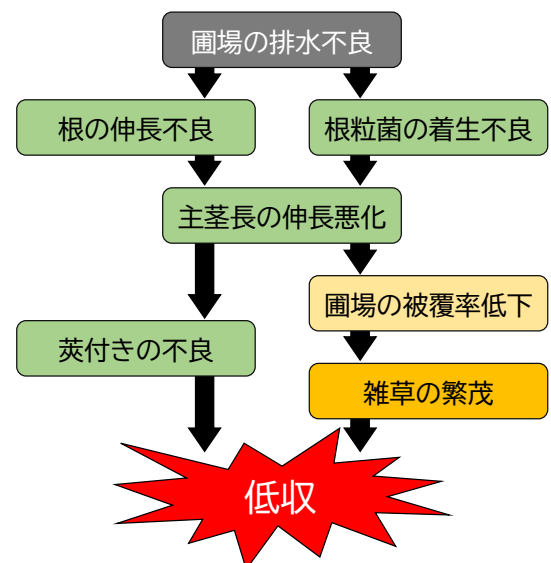


図2 圃場の排水不良による低収イメージ

### 3 除草剤

- ・大豆より雑草の生育が早い場合または中耕培土までに雑草の繁茂が予想される場合  
⇒除草剤の処理を検討する。

#### ○除草剤処理のコツ

- ・どのような草種が生えているが、草丈、葉数を確認して草種に合った除草剤を選ぶ。
- ・処理時期が適用外にならないよう、余裕をもって処理する。

### 4 雑草対策

- ・雑草は大きくなると除草剤が効きにくくなり、抜き取りも大変になる。  
⇒発生初期に中耕、または除草剤で除草することが大切。
- ・除草剤が効かないほど大きくなった雑草は、早期に抜き取り、圃場外に持ち出す。  
⇒雑草の種子を圃場に落とさせないことが来年の雑草を減らすポイント。

写真 収穫時に邪魔になりやすい草種の例



**イヌタデ**  
大豆よりも草丈は高くなる。花は房状で赤く、1株で数千個の種子をつける。



**シロザ**  
草丈が大豆の2倍以上になる。大型になるほど茎は太く硬く根張りも頑強なので、抜き取りに苦勞する。



**ツククサ**  
生長すると地面を覆うようになる。大豆収穫期にも青々としていて水分が多い。汚損粒の一因となる。



**帰化アサガオ**  
ツルが長く伸びて大豆株にからみつくので、収穫の支障となるのは勿論、手取り除草にも苦勞する。根は深い。

**これから暑くなります。**  
**農作業も適度に休憩を取りながら行いましょう。**



**農薬危害防止！農薬は必ず使用方法を確認し、正しく使用しましょう！**  
**STOP農作業事故！ 農作業はあせらず、きままず！**